

2020年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2019年7月31日
(証券コード6157)

目次

1. 2020年3月期1Qの業績	P. 3	・・・	第1四半期決算の概要
	P. 4	・・・	営業利益の減益要因
	P. 5	・・・	損益計算書サマリー
	P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
	P. 7	・・・	四半期業績推移
<hr/>			
2. 2020年3月期の業績予想	P. 14	・・・	業績予想
	P. 15	・・・	第1四半期における進捗状況
	P. 16	・・・	配当予想
<hr/>			
参考資料	P. 18	・・・	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 19	・・・	投資指標
	P. 20	・・・	株価推移とバリュエーション
	P. 21	・・・	I R 情報サイトのご案内

**2019年3月期
第1四半期の業績**



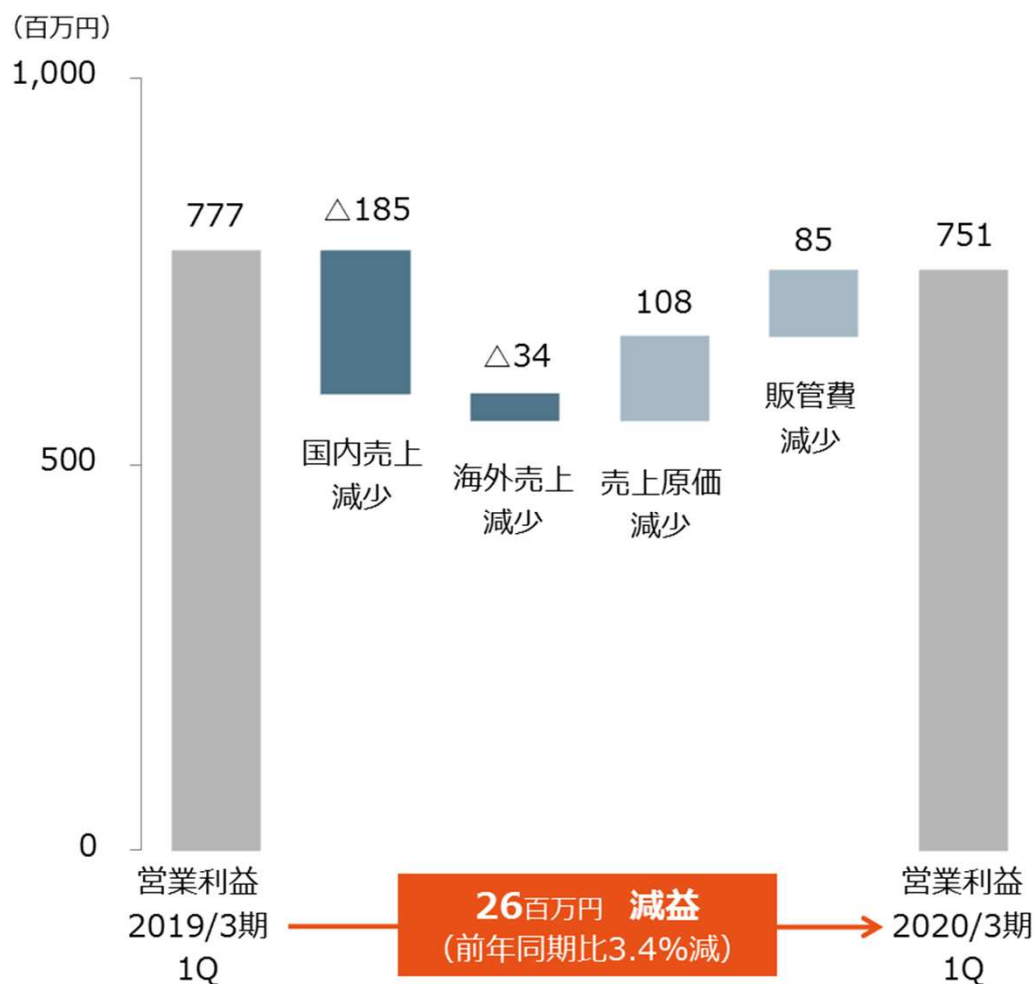
第1四半期決算の概要

前年同期に比べ売上・利益ともに減少したが、利益の進捗率は順調

(単位：百万円)	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	2020年3月期 上期予想	進捗率
売上高	2,686	2,466	5,120	48.2%
前年同期比	+17.4%	-8.2%	-2.4%	
営業利益	777	751	1,230	61.1%
前年同期比	+20.6%	-3.4%	-15.9%	
経常利益	778	752	1,240	60.7%
前年同期比	+19.5%	-3.4%	-15.5%	
四半期純利益	486	481	840	57.3%
前年同期比	+18.1%	-1.2%	-13.6%	

- 世界的なIT需要の減退や米中貿易摩擦激化等の影響から、昨年末以降小径工具需要も弱含む展開がつづき、当四半期の連結売上高は2,466百万円と、四半期最高を更新した前年同期の水準から8.2%の減少となった。また、上期予想に対する進捗率は48.2%と計画を僅かに下回った。
- 連結経常利益は752百万円と前年同期から3.4%の減少となったが、上期予想に対する進捗率は60.7%と売上高に比べ順調。
- 売上高経常利益率は30.5%となり、前年同期の水準を1.5ポイント上回った。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比185百万円、9.4%の減少、海外も34百万円、4.8%の減少となり、売上高全体では219百万円、8.2%減少した。
- 売上原価は、材料費や外注加工費といった変動費が生産減により低下したほか、製品在庫が増加したこと及び日進工具香港の連結に際して連結上減算される原価が大きかったことから、同108百万円、9.7%の減少。
- 販管費も広告宣伝費や販売促進費の減少等から、全体で同85百万円、10.7%減少。
- これらの結果、営業利益は同26百万円、3.4%の減少に止まり、売上高営業利益率は30.5%と逆に前年同期の水準を1.5ポイント上回った。ただし、前述した日進工具香港連結の影響等もあり、第2四半期では逆に作用する可能性がある。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率
売上高	2,686	2,466	-8.2%
売上総利益	1,577	1,466	-7.1%
対売上高比率	58.7%	59.4%	
販管費	799	714	-10.7%
対売上高比率	29.8%	29.0%	
営業利益	777	751	-3.4%
対売上高比率	29.0%	30.5%	
経常利益	778	752	-3.4%
対売上高比率	29.0%	30.5%	
四半期純利益	486	481	-1.2%
対売上高比率	18.1%	19.5%	
設備投資額	117	743	+531.8%
減価償却費	142	166	+16.7%
従業員数(人)	332	343	+3.3%

- 売上高は2,466百万円と前年同期比8.2%の減収。電子・デバイス関連や半導体製造装置、工作機械関連等の減速が工具需要に影響を及ぼした。
- 売上高の減少により、売上総利益は1,466百万円と同7.1%の減少となったが、売上総利益率は59.4%と同0.7ポイント上昇。
- 販管費は広告宣伝費や販売促進費の減少等から抑えられ、同10.7%の減少。売上高販管費比率も29.0%と同0.8ポイント低下。
- これらにより、営業利益は同3.4%減の751百万円、売上高営業利益率は30.5%。売上高が減少し絶対額は低下したが、売上高比率としては上昇。
- 設備投資額は、建設中の新開発センターや子会社工場に関連する支払い等から、前年同期の5.3倍となる743百万円。ただし、それらがまだ完成していないため、減価償却費は16.7%増の166百万円。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2019年 3月期末	構成比	2020年 3月期1Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
流動資産	9,932	64.6%	9,154	60.6%	-7.8%
現金及び預金	6,209	40.4%	5,472	36.3%	-11.9%
受取手形及び売掛金	1,531	10.0%	1,452	9.6%	-5.1%
棚卸資産	2,056	13.4%	2,082	13.8%	+1.3%
固定資産	5,449	35.4%	5,940	39.4%	+9.0%
有形固定資産	4,685	30.5%	5,181	34.3%	+10.6%
無形固定資産	84	0.5%	75	0.5%	-10.3%
投資その他の資産	679	4.4%	683	4.5%	+0.6%
資産合計	15,381	100.0%	15,094	100.0%	-1.9%
(負債の部)					
流動負債	1,643	10.7%	1,211	8.0%	-26.3%
買掛金	277	1.8%	252	1.7%	-9.1%
固定負債	275	1.8%	254	1.7%	-7.6%
負債合計	1,919	12.5%	1,465	9.7%	-23.6%
(純資産の部)					
自己資本合計	13,397	87.1%	13,564	89.9%	+1.2%
純資産合計	13,461	87.5%	13,629	90.3%	+1.2%
負債・純資産合計	15,381	100.0%	15,094	100.0%	-1.9%

流動資産

法人税等や賞与の支払いによる現預金の減少等により、7.8%減少。

固定資産

新開発センターや子会社工場の建設仮勘定が増加した影響等から、同9.0%増加。

負債

未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同23.6%の減少。

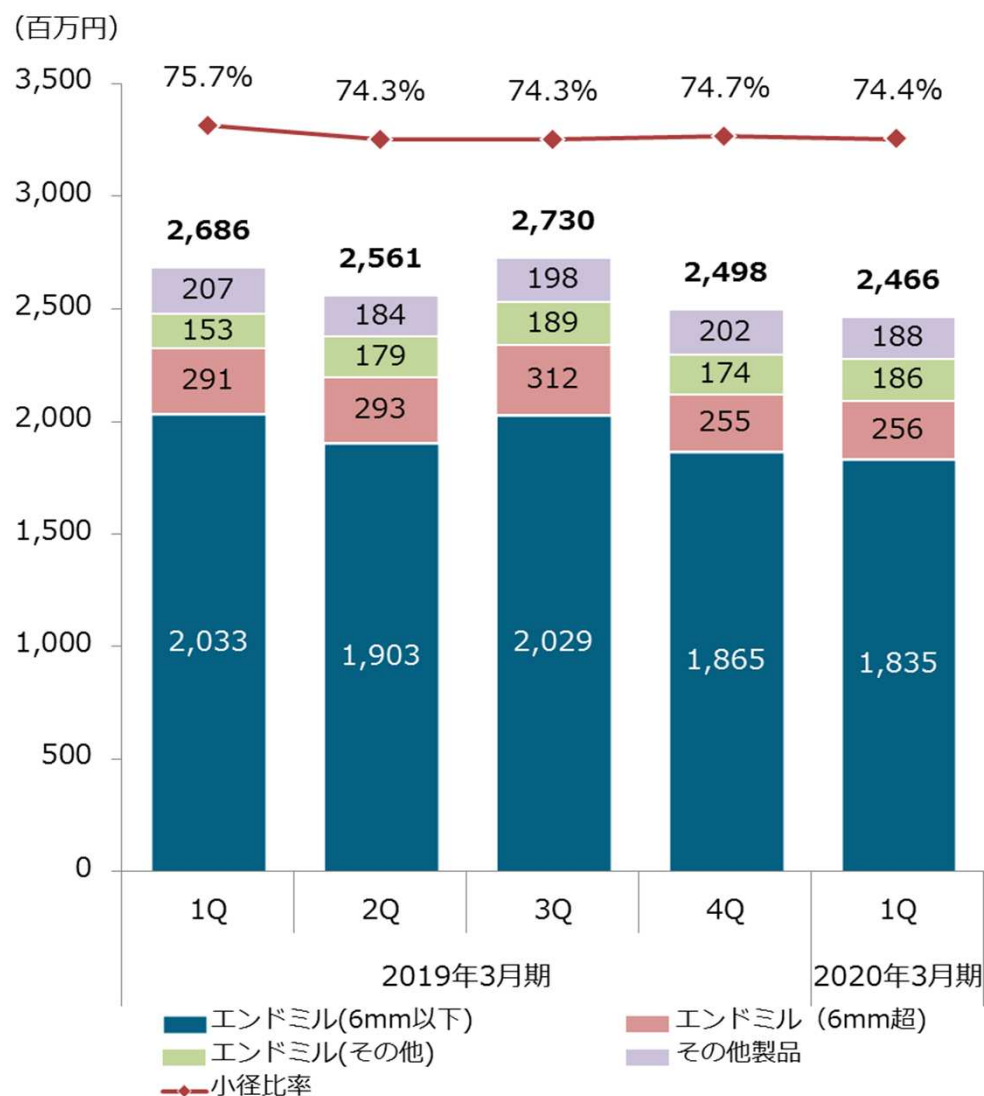
純資産

利益剰余金の増加等から、同1.2%増加、自己資本比率も89.9%と2.8ポイント上昇

業績推移（売上高の推移）

製品別）

製品別売上高と小径比率の推移

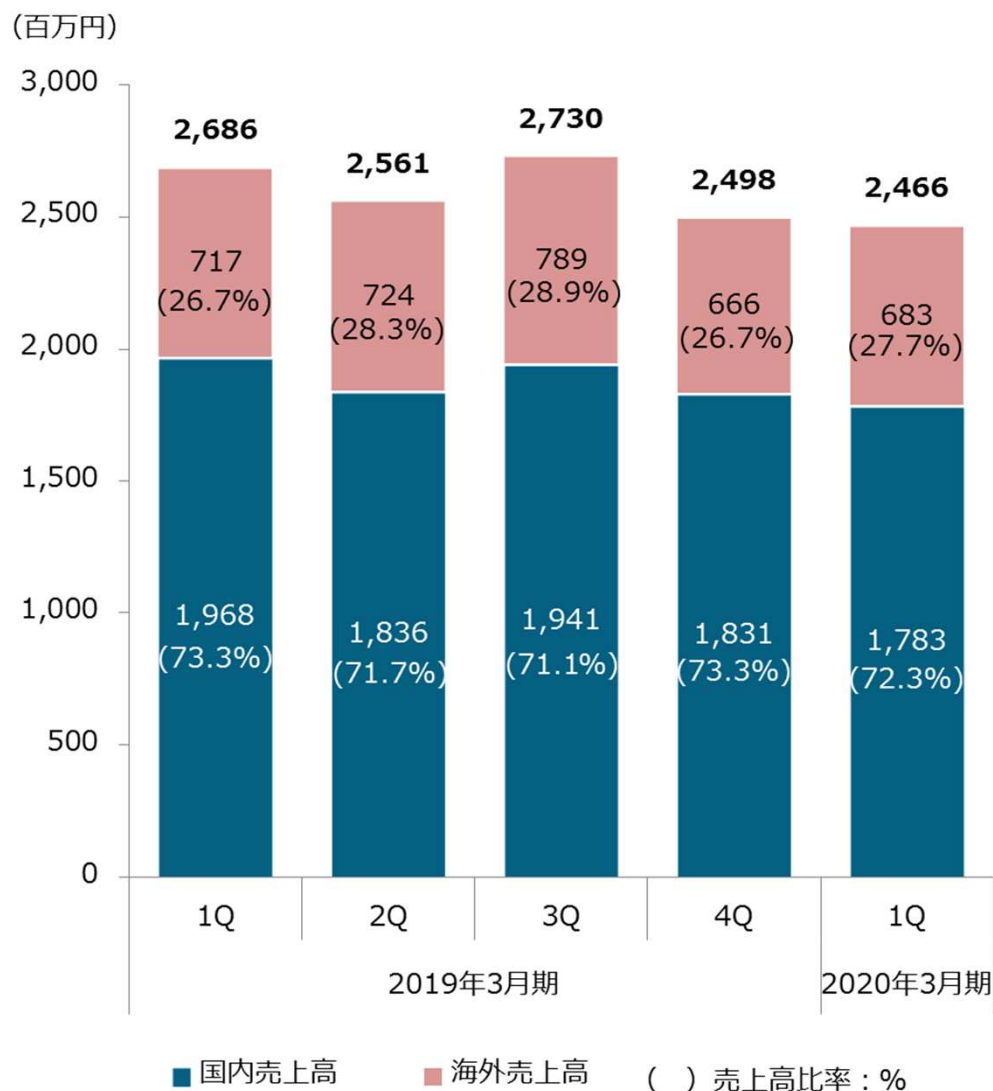


自動車関連は、安全装備の充実や新車投入効果などから底堅く推移したものの、電子・デバイス関連や半導体製造装置、工作機械関連は、昨年後半から続くスマートフォン販売の不振やメモリ需要の減速、米国の対中関税強化や中国通信機器メーカーへの制裁措置等から厳しい状況が続き、小径工具需要は昨年秋口までに比べ弱含みで推移。連結四半期売上高は2,466百万円と前年同期比8.2%の減少、前四半期比でも1.3%の減少であった。

製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）は需要が弱含みで推移したことから、前年同期比9.8%減少したほか、昨年秋に値上げを行ったエンドミル（6mm超）は同11.9%の減少。一方、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は大口の需要が入り同21.3%増加、工具ケース等のその他は同9.2%減と標準品と同様の減少となった。これにより小径比率は同1.3ポイント低下の74.4%。

業績推移（売上高の推移 国内・海外）

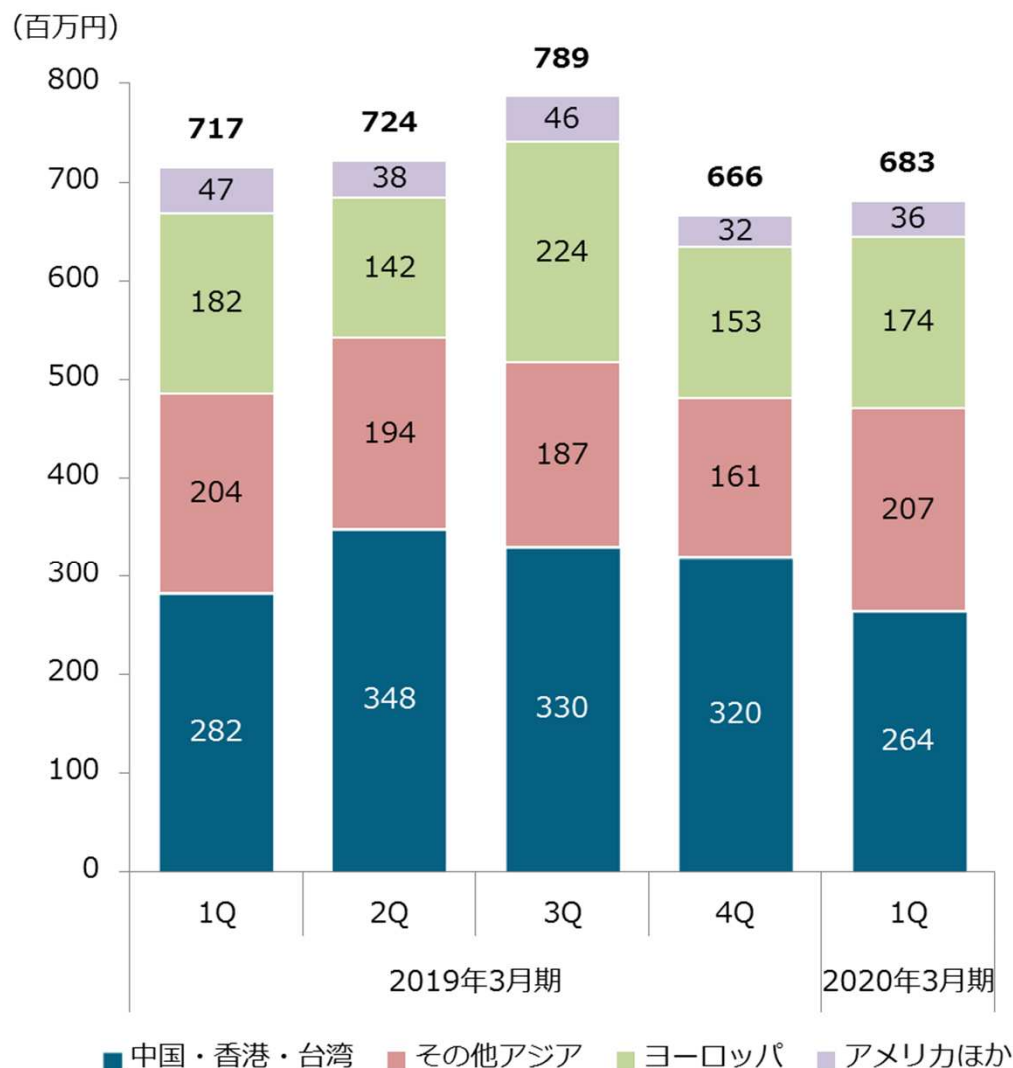
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期の水準から185百万円、9.4%減少し1,783百万円、海外売上高は同34百万円、4.8%減少し683百万円であった。
- いずれも前年同期を下回ったが、国内売上高の減少率が大きかったため、海外売上高比率は1.0ポイント上昇の27.7%となった。

業績推移（売上高の推移 海外地域別）

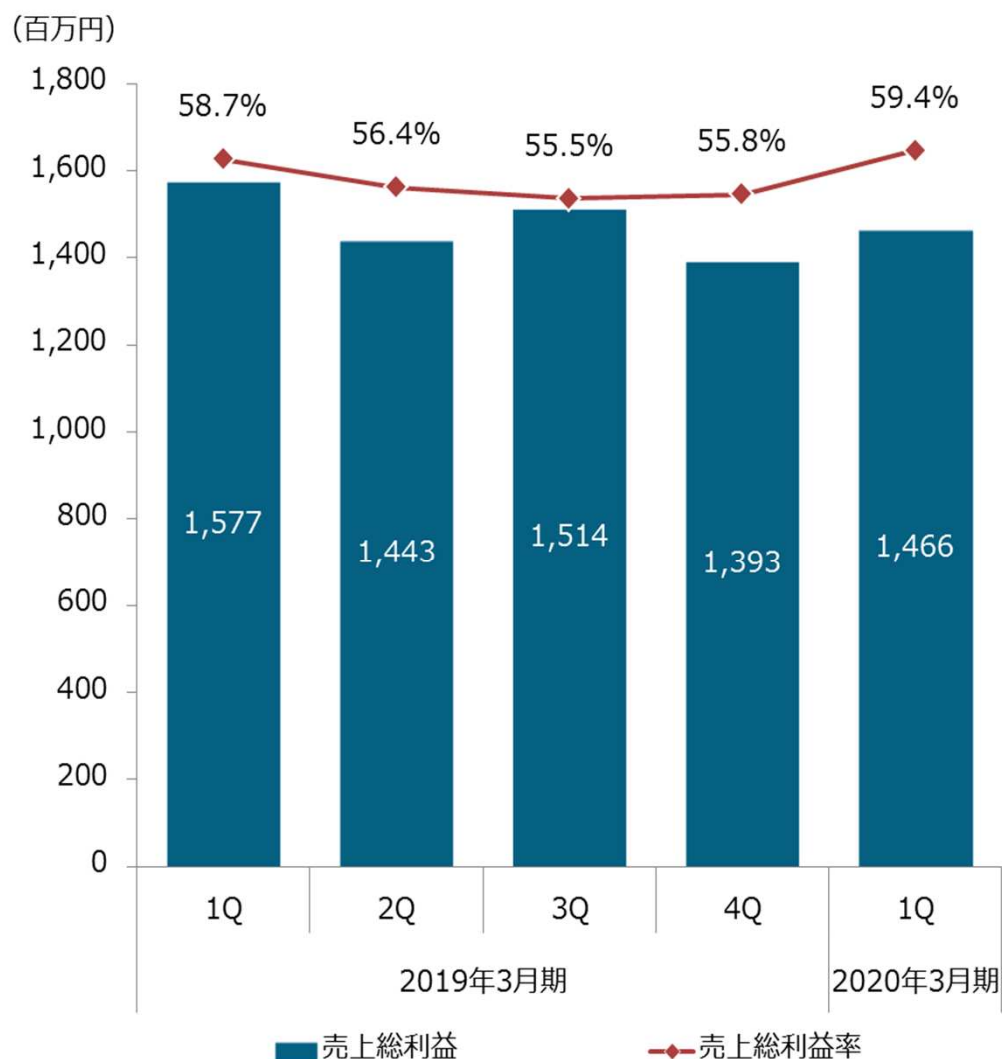
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比6.6%の減少、日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月となるが、毎年この時期は春節もあり減少するため、他地域では増加となった前四半期比でも17.6%の減少であった。
- その他アジアは前年同期比1.7%増、前四半期比では28.9%増となり、唯一前年同期の水準を上回った。この地域ではタイが最も多いが、インドネシアも徐々に市場が拡大している。
- ヨーロッパはドイツ、イタリア、スイスが中心。前年同期比では4.5%減だが、前四半期比では14.2%の増加となった。
- アメリカほかは海外売上高全体の5.3%に過ぎず、今後最も伸ばしていきたい地域。

業績推移（売上総利益の推移）

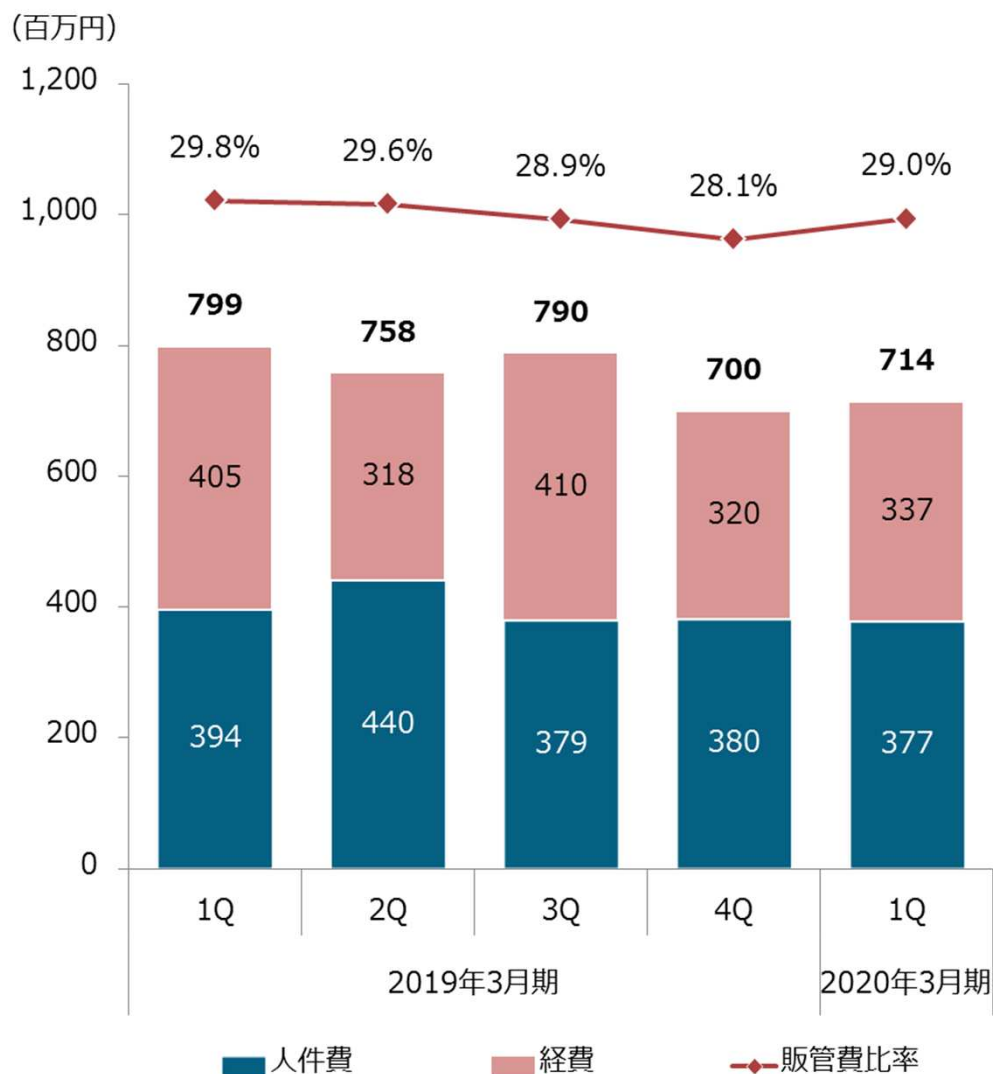
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上高の減少により前年同期に比べ生産量を抑えたことから、材料費や外注加工費といった変動費が減少したほか、製品在庫が増加したこと及び日進工具香港の連結に際して連結上減算される原価が大きかったこともあって、売上原価は前年同期比9.7%減と売上高の減少率を上回った。
- このため、売上総利益は同111百万円、7.1%前年同期から減少したが、売上総利益率は59.4%と同0.7ポイント上回った。
- 但し、7-9月の日進工具香港の売上高は4-6月に比べて減少すると想定されるため、第2四半期では売上総利益率を若干抑制する方向で作用するとみられる。

業績推移（販管費の推移）

販管費と販管費比率の推移



- 販管費では、一部の販促施策を中止したことにより販売促進費が減少したほか、プロジェクト協賛やホームページ関連を中心に広告宣伝費が減少したこと等から、経費は前年同期比16.8%減少した。
- 人件費においても、昨年6月の役員退職慰労金制度の廃止により同引当金が無くなったことや、予想利益の低下による賞与引当金の減少等により同4.4%減少した。
- 売上高販管費比率は29.0%と前年同期に比べ0.8ポイント低下。
- なお、役員退職慰労金の廃止に伴い株式報酬型ストックオプションを導入したことから、四半期毎に計上されていた役員退職慰労引当金がなくなる一方、第2四半期に株式報酬費用が計上される。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 前年同期比8.2%の減収となったが、売上原価や販管費の減少率が上回ったため、営業利益は751百万円と同3.4%の減益に止まった。
- 営業外損益は、収益、費用の差額が数十万円程度であったことから、経常利益は752百万円。営業利益同様同3.4%の減益。
- 売上高経常利益率は30.5%と高水準となったが、日進工具香港連結による売上原価への影響や、第2四半期以降展示会や広告宣伝等の費用が増えること等から、均してみる必要がある。

2020年3月期の業績予想



業績予想

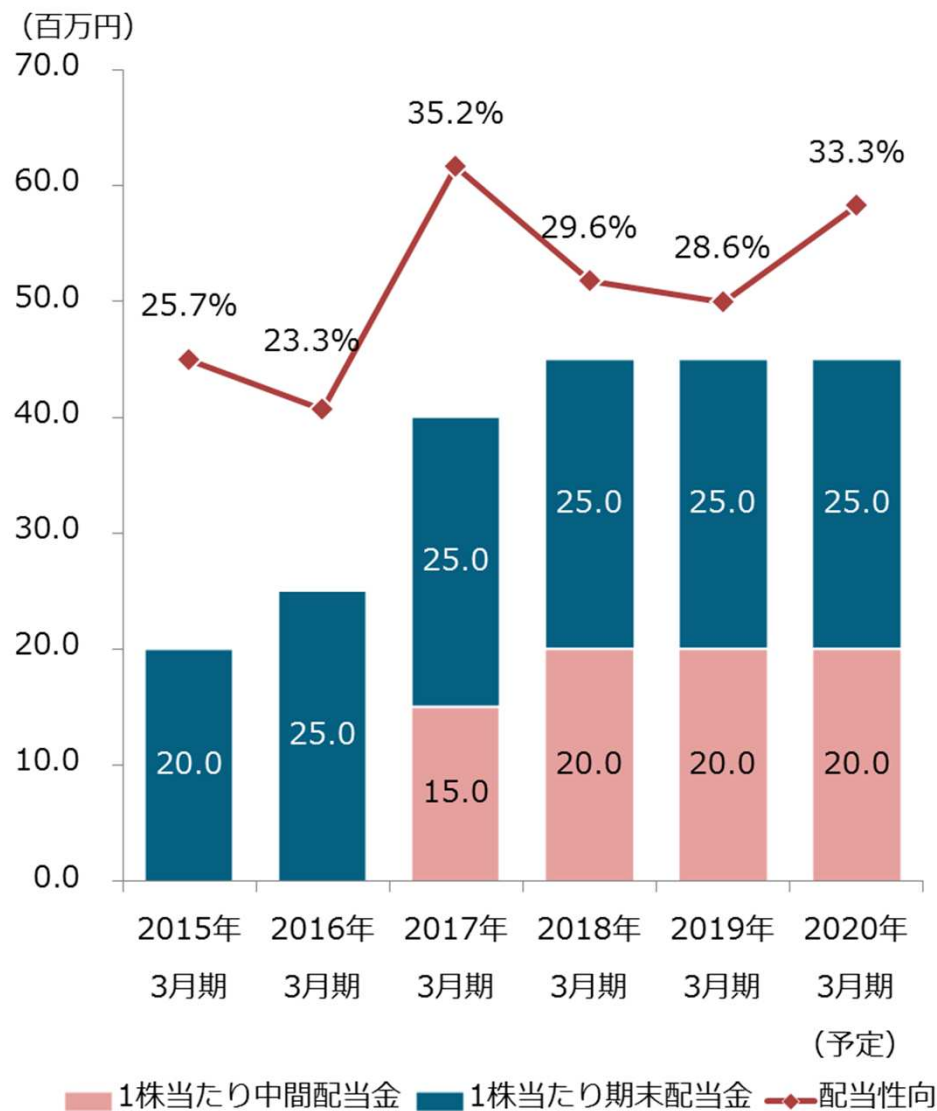
(単位：百万円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	10,476	10,380	-0.9%
営業利益	2,879	2,440	-15.3%
経常利益	2,894	2,460	-15.0%
当期純利益	1,970	1,690	-14.2%
設備投資額	1,268	1,697	+33.8%
減価償却費	629	740	+17.7%
EPS (円)	157.59	135.16	-14.2%
1株当たり配当金 (円)	45.00	45.00	-

- 5Gの本格的な普及を来年以降に控え、年内はスマートフォンの需要が低迷するとみられるほか、米中貿易摩擦や英国のEU離脱等世界経済にとっての懸念材料を抱え、輸出や設備投資が停滞する可能性が高い。自動車産業では安全装備の充実に加えEVやFCVの増加が期待されるが、工具需要全体としては低下を予想。
- 昨年秋の原材料値上げが今年度は通期にわたり影響を及ぼすほか、新開発センターの竣工やプライベートショーの開催により、販管費が増加するとみられるため、利益は売上高以上に低下するものと予想。
- 設備投資は通常 of 機械設備に加え、新開発センターや子会社工場建設により過去最高の水準を想定。これらの竣工により減価償却費も上昇。
- 利益は減少するものの、1株当たり配当金は年間45円を継続。

第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2020年3月期				
	1Q 実績	上期 予想	進捗率	通期 予想	進捗率
売上高	2,466	5,120	48.2%	10,380	23.8%
前年同期比	-8.2%	-2.4%		-0.9%	
営業利益	751	1,230	61.1%	2,440	30.8%
前年同期比	-3.4%	-15.9%		-15.3%	
経常利益	752	1,240	60.7%	2,460	30.6%
前年同期比	-3.4%	-15.5%		-15.0%	
四半期純利益	481	840	57.3%	1,690	28.5%
前年同期比	-1.2%	-13.6%		-14.2%	

配当予想（株主還元について）



業績に応じた利益還元

- ・ 2019年3月期の1株当たり年間配当金は45円。
中間配当20円、期末配当25円
配当性向は28.6%
- ・ 2020年3月期の1株当たり年間配当金は45円を予定。
中間配当20円、期末配当25円
業績予想に対する配当性向は33.3%

利益水準の低下を想定するものの、配当の安定性等を考慮して前期の水準を継続。

- ・ 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、1単元（100株）以上を保有する株主様を対象にオリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を追加で贈呈。

2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

參考資料



過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績
売上高	7,402	8,382	8,825	9,767	10,476
営業利益	1,481	1,914	2,013	2,695	2,879
営業利益率	20.0%	22.8%	22.8%	27.6%	27.5%
経常利益	1,534	1,954	2,026	2,733	2,894
経常利益率	20.7%	23.3%	23.0%	28.0%	27.6%
当期純利益	973	1,342	1,420	1,903	1,970
当期純利益率	13.1%	16.0%	16.1%	19.5%	18.8%
有利子負債額	-	-	-	-	-
純資産額	8,480	9,569	10,666	12,002	13,461
総資産額	10,339	11,371	12,517	14,467	15,381
自己資本比率	82.0%	84.2%	85.2%	83.0%	87.1%
設備投資額	612	1,295	774	663	1,268
減価償却費	474	505	632	625	629
1株当たり配当金(円)	20.00	25.00	40.00	45.00	45.00
従業員数(人)	281	280	322	338	343

2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標

売上高経常利益率



株主資本当期純利益率 (ROE)



1株当たり当期純利益 (EPS)



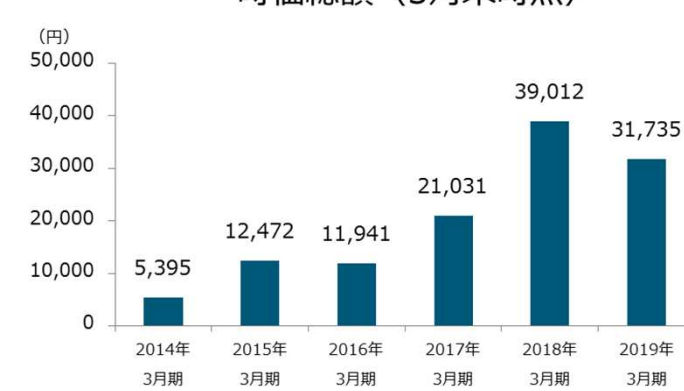
株価収益率 (PER)



株価純資産倍率 (PBR)



時価総額 (3月末時点)



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2013年1月～2019年7月）



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2019年7月29日現在）

売買単位	100株
時価総額	252億円
ROE (19/3期実績)	15.5%

単元株価格	20万1,600円
PER (20/3期予想)	14.92倍
PBR (19/3期実績)	1.88倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation bar is a banner for 'Investor Relations' with the text 'IR情報' and '東証一部 コード: 6157'. The main content area is divided into two columns. The left column features 'IRトピックス' and 'IRニュース' sections. The right column features a 'IR情報' sidebar with links to 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ IRイベント', and '+ 株式情報'. Callout lines point from the text on the right to these specific elements on the website.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員	経営企画室長	田島	寛
管理部	経理課課長	今関	弘毅
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。